

感謝と報告

NPO法人こそだてシップ代表理事

伊藤 怜子



東日本大震災から七年が経ち、当法人の活動報告集が発刊出来ますことに、深い感慨を覚えます。

平成二十年、地元助産師有志で始めたささやかな地域の子育て支援が、あの未曾有の東日本大震災から、皆様のお力で今日まで活動が継続出来ましたこと、心から感謝申し上げます。

千年に一度といわれる大震災は、今でも、この先も、到底言葉で語りつくすことのできない悲劇と哀しみを残しました。しかし、被災地の劣悪な環境でも赤ちゃんが産まれ、その小さな命の赤ちゃん達の笑顔と安らかな寝顔は、被災地に住む私たちを和ませ、明るい灯のように支えてくれました。

このような中で当法人が、壊滅した街で困難な育児を続けている方々や、不安だらけの妊婦さん方の声を拾い、身近に寄り添うことが出来したのは、ひとえに、当法人活動を支えて頂いた、皆様方お一人お一人の尊いお気持ちのお蔭です。

直接お礼を申し上げる機会も少なく、叶わず、お母さんたちの笑顔が徐々に大きくなってきている今、これまでの活動のご報告と、皆様方のご支援に感謝をこめて、この「伝えきれない ありがとう」を発刊させて頂きます。

何卒ご一読頂き、今後とも当法人の活動にお力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成三十年三月